

私の家族

タジプリア ラミタ
TAJPURIYA RAMITA

私の家族は4人です。両親と姉と私です。今、私の家族はネパールに住んでいます。子どもは姉と私だけだったので、小さい時からほしい物がいつももらえました。私の家族はネパールではふつうの家族です。でも、父も母も、私たちのためにがんばって、ほしい物はいつも買ってくれました。私の姉は大学生の時けっこんしました。今は二人子どもも生まれました。一人は女の子、もう一人は男の子です。今は、姉はご主人の家に住んでいます。

そして、私も今、日本にいるのでネパールの家には、父と母だけです。とてもさびしいそうです。親戚の人たちは私に兄と弟がいたらよかったのと言っています。ネパールの社会の考え方はちょっと日本と似ているところがあります。ネパールでも生まれてくる子どもが娘だけで、息子がいなかったら、将来両親の世話を誰がするのかという問題が出てきます。「あなたたちの子どもは女の子だけです。あなたたちが年を取ったら、だれが世話をしますか。」と両親は親戚の人からよく言われるそうです。「女の子は結婚したらご主人の家に行きますよ。あなたたちの世話する人がだれもいませんね。」と言われるそうです。こんな話を聞いたら、あまりいい気持ではありません。

でも、私の両親は言いました。「私のむすめは息子と同じです。私たちの世話は私のむすめがしてくれます」と言うそうです。私の家族はお姉さんが生まれた時、いなかに住んでいましたが、私

が生まれた時は、私たちのしょうらいを考えていなかから町のほうに引っこしてきました。

英語で有名な話があります。それは、「Simple living high thinking」です。これは日本語で「簡素な暮らしと高い思い」というガンジーの思想と関係があります。私の両親の考えも「簡素な暮らしと高い思い」です。だから、父と母は社会からの批判は気にしないで、私たちのためにがんばってくれました。今もがんばっています。いつも家族は私をしんらいしてくれるので、私が何かにちょうせんする時サポートしてくれます。私は自分のことは何でも父と母に言うから、今までうそをついたことはありません。私の両親は、いつも「私たちの子どもは何でもできるようになる」と思って、サポートしてくれます。両親は私のゆめを、自分達のしょうらいのこととと思っています。いつもしんぱいします。いつもおしえます。何をしたらほうがいい、何をしないほうがいい、いつも子どもたちのために考えて、しんぱいしてくれます。

私の両親は、息子がいなくても、娘が息子のよう、何でもできるように挑戦する心を誇りに思っています。私にとっての両親は、父と母だけではなくて、私のゆめを、自分のゆめとってくれ、サポートしてくれます。そして、私たちのしょうらいを思って、ちょうせんできるかんきょうをつくってくれます。いろんないいことを教えてくれる人生の先輩です。家族は私たちのほんとうのかみさまです。